

# WEEKLY REPORT

例会日 木曜日 12:30~13:30  
例会場 上野精養軒 TEL.03 (3821) 2181  
事務所 〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-1-5 Aビル 6F  
TEL.03 (5637) 4602 FAX.03 (5637) 4611  
<http://www.tokyo-kohoku-rc.org>



葛飾北斎描く千住より眺望の富士

## 東京江北ロータリークラブ

会長 渡邊浩/会長エレクト 張替俊光  
幹事 影山幸一郎/副幹事 中山高德  
会報・IT委員長 原田寛



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

親睦がつなぐ笑顔。  
そして、回復への支援。

**SERVE TO  
CHANGE LIVES**

RC会長  
渡邊 浩

RI会長  
シエカル・メータ

第 2960 回 2022 年 6 月 30 日

Rotary Rate 127 円

### 2022 年 6 月 23 日 第 2959 回例会報告

点 鐘

ロータリーソング 「それでこそロータリー」

来 賓

- ゲスト  
なし
- ビジター  
なし

セ レ モ ニ ー

- あいあい寄付…戸塚誠一郎君  
…海老沼孝二君  
…渡邊浩君  
…影山幸一郎君  
…鈴木喬君  
…伊藤隆君  
…ベルマンピーター君  
…守屋裕之君  
…小林光夫君  
…芝久雄君  
…張替俊光君  
…中山高德君  
…今井太郎君  
…人見真吾君

### 会 長 報 告

- 瀧澤ガバナー補佐より、2023-24 年度のガバナー補佐につき当クラブより推薦頂きたいと依頼。ガバナー補佐の資格基準に基づき 2023-24 年度ガバナー補佐に守屋裕之会員を推薦させて頂きました。(6/16 理事会にて報告・了承済み)
- 羅山会員より出席免除の申請がございました。東京江北ロータリークラブ定款第 10 条第 5 節(a)を適用し 2023 年 6 月 15 日までの出席を免除するものとします。(6/16 理事会にて協議・承認済み)
- 畠山さんの御母堂様の訃報が届いております。心よりお悔やみ申し上げます。

### 幹 事 報 告

- 本日「インターアクトクラブ」潤徳女子高等学校にて16時より
- 本日「地区納めの会」16時よりオンラインミーティング形式にて参加予定の方はお忘れなきようお願いいたします。
- 畠山信弘会員の御母堂様 四ツ木斎場にて6月26日(日)18時よりお通夜。6月27日(月)10時より告別式。

### 委 員 会 報 告

- SAA…来週最終例会となりますが、ニコニコへのご協力お願いいたします。

THE ROTARY CLUB OF TOKYO-KOHOKU

出席報告 会員46名中38名 出席率80%  
Remote 1名

前々回の出席率 97.83% (6/9)

## ニコニコ (● ^ 〇 ^ ●) ボックス

- 会員お誕生日祝 …戸塚君
- 渡邊会長 影山幹事…鈴木喬パストガバナー、本日は卓話よろしくお願ひ致します。貴重なお話を楽しみにしています。
- 樽澤君…待ち人が来た～！ガハハハ！
- 中山君 人見君 岩崎君 高橋(秀)君 芦川君 …影山さん、人生2回目のホールインワン、おめでとうございます。嬉しいくせに冷静さをよそおっても、その鼻は嘘を付けませんね！！
- 影山君…6月18日、取手国際ゴルフクラブ西コースの17ホールにて、200ヤードのホールインワンしてしまいました。人生2回目の快挙！！アマチュアは1/15,00の確立だそうです。人見君、手配宜しくお願ひしま～す！
- 吉田(潤)君…7月4日、皆様のご協力のお陰様で無事に新店舗がオープンできそうです。ありがとうございます。今までの美容室ISMに名前を付けくわえ、ISM吉田美粧院となります。宜しくお願ひします。

合計 16,000円 累計 1,796,568円

## 卓話



6月23日(木)の卓話は、2003-04年度クラブ会長、2008-09年度東分区ガバナー補佐、2015-16年度第2580地区ガバナーを務めた当クラブメンバーの鈴木喬君より「日本のロータリー100周年と米山回顧」と

いう演題にてお話いただきました。

続く↑

まず、日本のロータリー100周年について。東京ロータリークラブができたのが1920年10月20日。実は大阪のロータリークラブでは今年11月が100周年。日本のロータリーが100周年になるにあたり、今後どういう方向にいくのが望ましいのか。私たちが現場の第一線にいた頃と現在のロータリーはだいぶ様変わりしている。例えば、社会奉仕活動やロータリー財団などは6、7年前と比べてもスタンスが変わってきている。また、今までは各地域が個々に活動するといったスタンスだったが、地区補助金事業や米山奨学生など今では各地域が一斉に活動に取り組むといったスタンスに変わってきた。これは組織連携に纏まり、出来上がってきたといえる。記念事業等委員会で私が仰せつかった際に伝えられたことは、何をやるかは自分たちで考案してほしい、ということだった。結果、いくつかの活動を行ったが、果たしてそれでよかったのかと思うところはあ

る。実際に「34の地区ロータリーの鐘を制作」「米山梅吉さんポスター2800枚やバッジを作成し配布」「ロータリーの記念切手の制作および発売」などおよそ7つの項目を行った。

次に米山奨学事業についてであるが、古澤丈作さんという方が、クラブ事業として米山梅吉を偲ぶために作ったのが、東京ロータリークラブ米山奨学事業だったわけである。当初は1年に一人、2年目は二人、という細々とした支援事業だった。1952年から5年経った57年に全国クラブ全体事業、地区合同事業。1962年に国際ジャパン公式事業となり1967年には国の認可を受け、寄付を頂いたときに寄付証明が出るという、現在の米山奨学事業の基礎になるものが出来上がったのである。つまり、実際には米山さんの考案事業ではなく古澤丈作さんの考案事業なのである。

東京江北ロータリークラブは全国のクラブの中で、米山奨学事業に対する貢献度は非常に高い。約20年前には会員が約80名おり、東京江北の米山に対する寄付は全国で2番目に1億を突破したという経歴がある。この時、東京ロータリークラブは8000万という寄付額で、「事業を発祥させた当クラブが東京江北ロータリークラブに負けて恥ずかしくないのか」と喝を入れたことで、現在、東京ロータリークラブは2億7000万という寄付額で貢献し1位になっている。

東京ロータリークラブの会員数337名、東京江北ロータリークラブ会員数44名でロータリー米山記念奨学会への寄付累計額は1億3800万円です。2022年4月現在

### 本日の卓話

2021-22年度 最終例会  
「一年を顧みて」  
会長 渡邊 浩  
幹事 影山幸一郎

### 次週卓話予定 7/7

2022-23年度 初例会  
新旧役員引継式



2021-22年度  
会長 渡邊 浩

東京江北ロータリークラブの皆さま、一年間大変お世話になりました。

一昨年の今頃に会長エレクトの打診を頂き、その意味も十分に理解しないままお受けさせて頂きました。会長エレクトの一年間は言われるままに演壇側に着席しておりましたが、コロナ禍での休会等もあり、あまり危機感も感じずにあっという間に時間が過ぎてしまいました。そして、昨年7月になり気持ちと知識の準備も十分に出来ないまま会長年度がスタートしました。

初例会では、会員の皆さまを前にして例会の進行を始めましたが、演台に用意した例会次第を落ち着いて読むことも出来ず、頭が真っ白になって何をどうすれば良いのか途方に暮れる始末でした。

しかしながら、会員の皆さまはそんな自分を温かい眼で見守ってくださり、「会長、頑張れ!」と声をかけて下さいました。集合写真を撮影するときも、「会長は真ん中。」と小生を先に座らせて先輩方が自分を囲むように並んで下さいました。申し訳ないという気持ちで一杯でしたが、同時に当クラブの皆さんの優しさに心より感謝の念を覚えました。

先輩方は、いつも色々とお声掛けをして下さいました。クラブ行事がある度に、注意すべき点、議論すべき点、物事の進め方についてご指導下さいました。また、事業がなんとか無事に終了すると、「今日の会は良かったよ。また頑張れよ。」と励まして下さいました。この一言が、どんなに励みになった

ことでしょう。自分もいつか立場が変わったら、こんな風の後輩を指導できる存在になりたいなと思いました。

また、クラブの中にとあまり感じる事はありませんでしたが、地区の会合や会長・幹事会に出席すると、東京江北RCのステータスの高さを認識する場面が多々ありました。会場内の配席は必ず上位の場所に準備されており、挨拶の順番もいつも東京東RCに続く二番目でした。他クラブの皆さんからは、「あの先輩はお元気にされていますか?」と当クラブの先輩方のことをいたる所で尋ねられました。これこそ、創立以来62年に亘り先輩方が脈々と築いてこられた歴史と伝統ある名門クラブの姿であると思知らされました。

クラブ運営については、特に海老沼副会長を始めとする理事、役員の皆さまに心からの感謝をお伝えしたいと思います。頼りない会長を、いつも親身になってサポートして頂き本当に有難うございました。

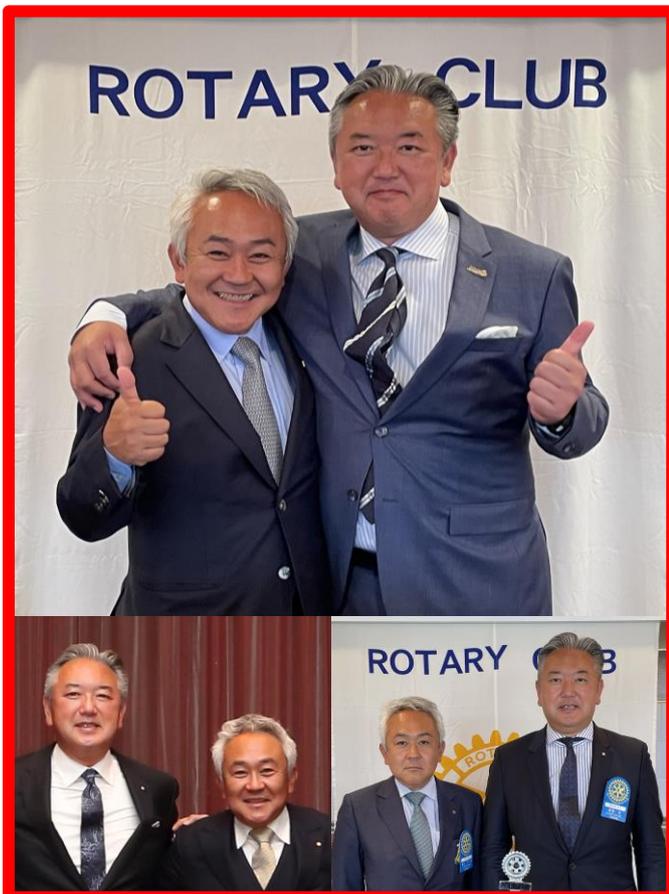
自分の意志で会長をお受けしたからには、会歴が浅いからといって知識と経験に乏しい信頼されない会長にはなりたくないと思いました。自分なりに国際ロータリーや当クラブの規則を勉強してクラブや理事会の運営に臨みましたが、その様なにわか勉強が通用するはずもなく、結局は皆さま方に様々なご指摘、ご指導を仰ぎながらの運営となってしまいました。

会長としては、悔しく、情けない思いを沢山致しましたが、今はその一つ一つが自分を成長させる糧になったと感じています。この一年間を通じて、自分は少しだけロータリーに近づけたのではと思っております。

そして、この一年間、誰よりも自分を支えてくれた影山幹事には言葉に尽くせないほどの感謝をしています。自分が会長エレクトに打診されたとき、いの一に影山さんに副幹事をお受けいただけないか相談しました。すると、影山さんは、「自分が幹事を引受けるのは、渡邊会長のときにしたいと思っていました。」と言って下さいました。こんな嬉しい言葉は、そうそう聞けるものではありません。もしかしたら、影山さん一流のリップ・サービスだったかもしれませんが、この有難い言葉には目頭が熱くなりました。

そして、会長エレクト・副幹事、会長・幹事の二年間は影山さんが毎週月曜日か、火曜日の夕方に弊社まで来て下さり、例会や理事会の準備のため打ち合わせをしました。定款・細則や過去の資料を紐解き、色々なことを二人で話し合いました。これも今となってはとても楽しい時間でした。影山さんには一生の恩義を感じています。

以上が、私が顧みた会長としての一年間です。楽しく、充実した、そして幸せな一年間でした。東京江北ロータリークラブの皆さま、本当に有難うございました。



## 幹事退任のご挨拶



2021-22年度  
幹事 影山幸一郎

伝統ある東京江北ロータリークラブの幹事を拝命し、早いもので一年が経とうとしております。思い起こすと、様々な事柄が走馬灯の様に蘇ってまいります。

本年度はスタート時から緊急事態宣言が発令され、例会の開催が思うようにできず、予定していた行事も延期をせざるを得ませんでした。その中で、小林元会長にご協力頂きハイブリッド委員会を立ち上げ、リモートでの例会運営を可能に出来た事は、とても有意義なチャレンジであったと考えております。

渡邊会長の「コロナ過で例会を休会することは本望ではない」との志をうけ、9月末から、通常の例会運営が出来ました事は、全ての会員の皆様のご協力とご理解があったからこそだと考えております。

本年度は会長テーマ「親睦がつなぐ笑顔。そして、回復への支援。」を掲げ、テーマに沿った、様々な取り組みが出来たと感じております。特に細沼親睦活動委員長、高橋プログラム委員長には大変なご苦勞をおかけしました事、心よりお詫びとお礼を申し上げます。

1年間、この頼りない私が、幹事の役を務める事が出来たのも、渡邊会長のリーダーシップと懐の広さに包まれ、また会員皆様の暖かいご指導と励ましに元気付けられた事に外ならず、心より感謝申し上げます。

今後は、会員の皆様のご支援・ご協力を忘れず、クラブに貢献して行きたいと存じております。一年間ありがとうございました。